



9月の行事計画表

会務報告

- NHK (Eテレ) の「手話ニュース845」は人気番組で、欠かさず観る家庭も多いと思います。気になるのは、天候の様子を報せる時間が以前より格段に増えたことです。雨に関する表現は、アナウンサーによって違いがありますが、みな表情が厳しくなっています。極端な豪雨や、災害が予測できない時には嚴重な注意を促しています。
- 雨の表現も熊手のように両手指が曲がり、空間を掻きむしるように激しく上下する。又、雨が吹き上がって扇風機さながらにぐるぐると回る。さらに地域毎に降る集中豪雨など「雨模様」の表現は本当に勉強になる。アナウンサーの皆さんもよく勉強していて、本当にご苦労さまです。
- 2024年問題の運転手不足で「バス減便」が浮上して来ています。札幌市内の地下鉄や中央バスは減便する恐れは少ないが、市内から外れる便数の少ない停留所は、さらに少なくなってきます。毎週「老人クラブ」へ通うわれわれにとっては、楽しみを奪われることとなります。私たちの足となる交通手段の制限で、大きな影響を受けますね。
- 本年度の会費未納者が3名残っている。諸事情で、連絡できないことになっていますが、現在は、会員扱いで、「老人クラブニュース」を送り続けている。市外の施設に収容されたと後から聞いて、事務局で退会手続きしたが、できれば、自主的に届け出るようお願いしたい。

9月5日	10:00~ ラジオ体操と会務報告 10:45~ 誕生会 余興 パントマイムと手品	情報センター 大会議室 誕生日に当たらない方は参加費200円納めませう。 小川達巳さん
9月12日	10:00~ ラジオ体操と会務報告 10:45~ 全道ろうあ者大会報告会	情報センター 大会議室
9月19日	10:00~ ラジオ体操と会務報告 10:45~ 室内ゲームと 文化祭の出し物の準備	情報センター 研修室 女性部担当
9月26日	道の駅ツアー ・福祉バスで巡ります。 10時00分出発 ・参加費 無料 ・昼食 自弁・食堂 ・厚田港「朝市見学」 ・情報センター解散	情報センター 9時半に集合

「熱中症(ねつちゅうしょう)」ってなあに



暑い日が続きますね。皆さんは、熱中症に気を付けていますか。「熱中症」とは、気温が高いときに、めまいやだるさ、吐き気、頭痛など様々な症状が起きる病気のことです。高齢者は、体温の調節がうまくできないので、かかりやすいです。熱中症になったら、日陰など涼しい所に移動し、体

を冷やします。症状が重いときは、すぐに病院に行きましょう。熱中症を防ぐためには、水分の補給が大切です。暑い日には、なるべく外出を避け、また、帽子をかぶるようにします。家の中にもかかるので、エアコンや扇風機を使いましょう

(T/T 記)

ご寄付ありがとうございました。

突撃インタビュー

太田 孝治様 (63 歳)

品名	寄付者名	金額
・青い鳥ハガキ (20 枚)	谷水 岩雄様	1,160 円
・青い鳥ハガキ (20 枚)	谷水みさ子様	1,160 円
・切手 (80 円×116 枚)	谷水夫婦様	9,280 円
・切手 (90 円×5 枚)	谷水夫婦様	450 円
・切手 (80 円×50 枚)	谷水夫婦様	4,000 円
・飴玉 (2 袋)	長谷川まり様	
・記録写真 (5 枚)	長谷川まり様	
・使用済切手 (11 枚)	小林 英子様	
・銅線 (3 本)	中根 伸一様	
・青い鳥ハガキ (20 枚)	瀬川百合子様	1,160 円
・青い鳥ハガキ (20 枚)	梅津喜世子様	1,160 円
・飴玉 (1 袋)	長谷川マリ様	
・飴玉 (1 袋)	伊勢谷小枝子様	
・		
・		
・		
・		

未記名の方は次号へ 合計 18,370 円

会員・準会員募集中(あなたもぜひ)

新年度 (4 月 1 日から) の会費は年 1,500 円です。私たちと一緒に楽しく交流しませんか。会場は情報センターで毎週 (木) 10 時から 12 時までです。

現在、入会案内状を作成中です。仲間に誘いたい人が居る時に活用しましょう。乞うご期待。

2024年度「会費」納入者数 (7月31日現在)

会費納入者 54名 (未納者2名)

退会者 5名 会員数 56名

新入会者 3名 会員、準会員の区別なし

●今はどんな職業?職業の内容を教えてください。
○ほほえみ関係施設の職業指導員です。

●どこで生まれ、どこで育ちましたか?
○札幌で生まれ、札幌で育ちました。

●札幌っ子ですね

●どこの聾学校を卒業しましたか?
○北海道高等聾学校を卒業しました。

●どんな職業科を学びましたか?
○普通科です。

●私たちの老人クラブに入会していただき、ありがとうございました。老人クラブに入会した「キッカケ」は何でしたか?
○同じ中央区支部の老人クラブ役員から誘われて入会しました。

●老人クラブは毎週木曜日に開いていますが、まだ1度も顔を見せていませんね。忙しい毎日をご過ごしておられる様子。札幌協中央区支部長の他にたくさん役職を兼ねていらっしゃる事と思います。どんな役職を兼ねていますか?

○・北海道ろうあ連盟スポーツ委員会 パークゴルフ競技担当
・札幌ろうあ者パークゴルフクラブ事務局長
・札幌聾学校同窓会事務局長
・札幌ろうあ麻雀倶楽部事務局長

●私たちの老人クラブは、平均年齢が年々高くなっており、若手役員 (60 歳~70 歳) が望まれています。あなたのような方がリードする時代が来ています。よろしくお願いします。

○ずっと仕事しているので活動は難しいと思います。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

●忙しい中、突撃インタビューに応じていただきありがとうございました。色々な任務はみな縁の下の仕事ばかりで大変ですが、お体を大事にして頑張ってくださいね。都合の良い時はぜひお顔を出してください。老人クラブには、太田さんを知っている人がたくさんいますよ。

(N 記)

全国ろうあ者大会 in 和歌山

2024年6月7日～9日

報告者 畠山啓子さん

去る6月13日例会で、全国ろうあ者大会に参加した畠山啓子さん（老人クラブ企画部長）が老人クラブから唯一人参加したので、実際に見た大会の様子を講義していただきました。パソコンによるパワーポイントも一緒に投影しながら、解説していただきました。

それと合わせて、感想文を下記の通り投稿していただきました。

投稿 全日本ろうあ連盟；石野富志三郎理事長が今年をもって勇退することになり、過去と比べ、評議員会傍聴席人数が会場にあられていました。



大会を報告する畠山啓子さん

新体制の紹介がありました。

- ・理事長：鳥取県：石橋大吾さん
- ・副理事長：滋賀県：中西久美子さん
- ・副理事長：神奈川県：河原雅浩さん

※ 日本聴力障害新聞 7月号に新役員紹介がありますので読んでいただきたいと思います。

改選により、初めて女性が副理事長になられたことがうれしく思いました。

今後ますます活躍できるように応援したいです。

厚生文化賞は曾輪信明さん。

和歌山出身。1996年「第1回全国ろうあ青年研究討論会」から青年部活動を開始、和歌山県聴覚障害者協会青年部の創立に尽力された人です。

東京に移住後、全日本ろうあ連盟の職員として全国のろうあ者のために心血を注ぎました。

評議員会；第1分科会～3分科会報告がありましたが、傍聴席から離れていたため、見えにくかったので評議員より評議会報告を見せてもらいました。

気になった点→マイナンバーカードに保険証を取り組むことについて聞こえない人の理解を求める議論

しているのか？

理事の回答→ 国民全員が持つ方針。総務省からは説明マニュアルで聞こえない人が理解できるかヒアリングがあり意見を出しているとのこと。質問したかったのですが、評議員ではないため、どうしようもないんです。

研究分科会「手話言語法」

「手話言語制定推進運動のこれまでとこれから」

石野理事長が基調報告。

「116万の思い届け！」2011年3月11日、東日本大震災後、岩手県から署名用紙が届いたこと、大変な状況の中で市民たちの署名を見て本当に感謝の気持ちを忘れることができないとの話がありました。

「情報・コミュニケーションは生きる権利」のパンフ普及と署名活動を全国で展開してきたこと、手話言語の5つの権利のパンフレットを作ったこと、全国的に手話言語を広めてきたことなどなど。

- ・手話が音声言語と対等であることの明記。
- ・「手話の獲得」を定義 手話の日を手話言語の国際でーと同じ日に。
- ・ろう児が第一言語として手話を獲得するための機会保障を明記するなどの話がありました。

「和歌山における手話言語条例の取り組み」というテーマで和歌山県聴覚障害者協会事務局長：櫻井さんのレポート報告がありました。

まず、和歌山協会の紹介から始まり、1946年10月6日に創立したこと、2023年度会員数は250名。手話言語法制定を求める意見を取り組みは全国的に和歌山県が遅れていた。

どのように進めていけば良いか、わからず活動が停滞していた。2014年3月国会議員が和歌山県聴覚障害協会と手話言語条例制定について話したい、4月から取り組むように支援をもらいながら、経過報告がありました。和歌山県自治体が（1県/9市/20町/1村）国へ提出達成したとのこと。

和歌山県手話言語条例を読むと具体的に書いており、感心しました。

「基本理念」と「県の責務」・「事業者の役割」・「県民の役割」です。

「事業者の役割」→ろうあ者を雇用するときろうあ者にサービスを提供するとき、手話の使用に配慮と書いてありました。

それは当然ですが、あえて記入したことはすごいだと思いました。

しかし課題がまだ残されています。各自治体の取り組みに温度差とか、未だに「音声言語」を優先的？などなど報告がありました。

来年は2025年6月、岩手県です。

北海道から近いので皆さん、参加してみませんか？

耳の雑学



今回は、周りに転がっている「耳」に係わる話しを取り上げる。

・漫画化した耳なし猫

漫画の本やテレビの主人公になっている「ドラえもん」は、未来から来た猫型ロボットという設定。未来でネズミに喰われて耳を失った「耳なし猫」です。簡略化したイラストで子供たちの人気者になっています。空想の世界を飛び回る面白い漫画ですね。あなたもファンの一人？

・耳をネタにしたマジック

芸人でマジシャンの「マギー雅司」が手の中に折りたたんだスポンジの耳を隠しておき、サッと当てて耳を大きく見せる場面がよくありますね。種明かしが見え透いているが、笑いのタネにしています。耳を活用した芸も「笑い」に生きていますね。

・耳の活用？（その1）

熱い物を触ったときに耳たぶを触ることがありますか？これは熱いものを触ったときのとっさ

の動作であって、医学的、生理的な効果があるわけではありません。単に耳たぶの温度は低いからで慣習的に伝えられている行為ですが、昔の人には、多いと思いますね。

・耳の活用？（その2）

マッサージで耳を温め、柔らかく温かくなってくると、触れること自体が心地よくなる効果があるみたい。耳をほぐす。耳を引っ張ることもその一つです。耳全体の **血行を促すことで眼精疲労、肩こり、頭痛、軽いめまい、不眠などの改善に役立ちます。** 普段あまり意識することのない耳ですが、その動作によって、顔や首、頭までをほぐす効果が期待できるそうです。やってみましょう。意外と耳の活用が期待できますね。

・大きな耳たぶ

昔から肉厚の大きな耳たぶは「福耳」と呼ばれ、お金持ちの相と言われていました。特に知られているのは、七福神の大黒天と布袋尊、恵比寿の3人の副耳です。日本に洋服文化が定着すると、女性や若い人が耳飾りを付けるようになりました。最近はあまり見かけなくなりましたね。

(N 記)

北海道の市名を取り上げよう 6:27

老人寺子屋→ (とも支援)

今回は、北海道の35箇所ある市名を出し合う勉強会でした。



とも住友さんの表現

自分たちの生まれ故郷（ふるさと）ですからそれぞれ、ホワイトボードに書き入れました。その市名の手話表現も書いた人がやりました。

旧表現や新しい表現もあり、その「いわれ」

の解説がありました。聾学校に通学した生徒のサインネームから生まれた市名が多くある事も知りました。又、その市の歴史的な背景や市章から生まれた表現もあり、その市の性格や変遷も分かるものですね。消えてしまった市名があったことを知っていますか？又、新しく市になったところも知っていますか？

- ※ 亀田市（昭和48年・函館市に合併して消滅）
- ※ 北斗市（平成18年・大野町と上磯町が合併して新設誕生）

高齢部の社会見学会

下水道科学館

7月13日（土）高齢部の事業で高齢者対象に社会見学会を開きました。身障者福祉バスで往復。

まず、家庭や風呂、トイレから流した汚水をきれいな水にして川や海に流す下水道の仕組みを学ぶ科学館へ案内されました。



沢井さんの見事な手話解説にパチパチ

驚いたことに、科学館の職員「沢井さん」が私たちに「手話」で説明しました。自己紹介で手話は30年前、本州の手話サークルで習ったとのこと。最近札幌聾学校の生徒たちに手話で案内をやったばかりで、私たちは2度目だそうです。30年のブランクを全く感じさせないスラスラの手話解説で、やんやの喝采を浴びました。

そのあと北区の百合が原公園へ行き、昼食を取りながら、広い公園内に咲くきれいな花を觀賞しました。

帰路は情報センター前に佐藤（英）高齢部長の挨拶をして解散しました。

(投稿者 J・Sさん)

